

北海道情報大学 アドミッション・ポリシー(入学受入方針)

本学の使命・目標

IT 社会の到来を告げる国際情報化の幕開けに先駆け、「情報」を大学名に取り入れて開学した北海道情報大学は、高度情報通信社会の進展を先取りする学問領域の創造と、時代の要請に応える人材育成を使命としています。

北海道開拓のシンボル・野幌原始林の豊かな自然につつまれたキャンパスを研究・教育の創造的なふれあいの場とし、「情報」を核にその応用範囲を広げていく「情報の総合大学」として IT 社会の発展に寄与することを本学の目標とします。

教育目的

21 世紀において、われわれを取り巻くすべての社会構造は今や IT 抜きでは成り立ちません。このような状況に鑑み、本学の教育では、明日の高度情報通信社会の担い手にふさわしい IT 技術と知識、およびそれを支える幅広い教養と各種専門分野にまたがる知識の習得に裏打ちされた高度 IT 技術者を育成することを目的に掲げています。また、国際情報化に適応できる国際性豊かな人材、情報に付加価値を生み出す幅広い教養、感受性、モラル、コミュニケーション能力を備えた人間力に優れた人材を育成することを目指しています。

生涯にわたって自ら主体的に学ぶ力を育成する自己啓発教育

IT 社会に役立つ高度な情報技術と専門知識を身につける実践教育

国際感覚やモラルなど豊かな人間性を養う人格教育

コミュニケーションとプレゼンテーション能力を涵養する自己表現啓発教育

自ら問題を見つけ出し、その解決のために自身で工夫できる問題発見・解決能力育成教育

知識のみではなく生きるための知恵を啓発する全人教育

入学受入方針

推薦入学試験 1 期・2 期(公募制・指定校制)

公募制

高等学校での活動において優れた点を持ちかつ大学教育を受ける能力があると学校長が認めた学生に対し、小論文試験や面接試験を行いコミュニケーション能力や学ぶ意欲、積極性等を総合的に評価し、選抜します。

指定校制

高等学校との信頼関係に基づき、高校生活の中で学力、人物ともに優れておりかつ大学教育を受ける能力があると学校長が特に責任を持って推薦する学生について、書類審査を行い受け入れをしています。

A O入学試験

学力選抜とは異なり、提出されたエントリーシートや面談、適性テスト等により、専門への適性、熱意、関心等を多面的に評価し、多様な能力と意欲にあふれる学生を選抜します。また、高大連携については、高校時に本学の授業を実際に受講し、単位を修得した者について入学試験を実施しています。

特別A O入学試験

学力選抜とは異なり、提出されたエントリーシートや面談、適性テスト等により、専門への適性、熱意、関心等を多面的に評価し、また高校時の成績も参考に多様な能力と意欲にあふれる学生を選抜します。

一般入学試験(1期・2期)

本学独自の学力試験で、2教科2科目受験を実施し、基礎学力が身についているかを総合的に評価し、選抜します。また、北海道以外の試験会場を設けており、道外でも受験できる体制をとっています。

大学入試センター試験利用入学試験(前期・中期・後期)

本学独自の学力試験は課さず、大学入試センター試験の得点(2教科2科目受験)により基礎学力が身についているかを総合的に評価し、選抜します。

編入学試験

小論文試験、面接試験を実施し、本学へ編入学する目的意識や、学ぶ意欲について総合的に評価し、選抜します。また、情報メディア学部では南京大学(中国)からの編入生を受入れる制度があります。

特別入学試験(外国人留学生・帰国生徒)

外国人留学生

国際交流が盛んになり、私費外国人留学生の志願者が多くなってきている今日、本学においても国際的に広く人材を求めることを目的とし、日本語作文試験、面接試験により勉学意欲、姿勢等を総合的に評価し、選抜します。

帰国生徒

海外の様々な分野で日本人が活躍している中、外国の教育機関で正規の教育課程を修了し帰国してくる学生も増え、本学においてもこのような学生に教育の機会を提供することとしており、日本語作文試験、面接試験により総合的に評価し、選抜します。

先端経営学科

学科の理念

社会や企業が直面する様々な問題を多面的に考察し、情報技術（IT）を活用して実践的に解決できる知識とスキルを身につけるとともに、計画・分析・管理・運営に関して学問的に深い知識と洞察力をもったグローバルに通用する人材を育成します。

教育目標

経営学の基礎知識と IT を利活用する実践的な手法やスキルの修得を通して、ビジネスの仕組みを学び、社会や企業の IT 化の推進に役立つ人材の育成

のために産業界のニーズを考慮した先進的なカリキュラムの構成と、少人数で実践的なゼミ教育および e-Learning 等による個々の学生に適応した教育の推進
必要となる各種資格取得

以上のことを含め、先端経営学科では4つのコースを設けています。

e-ビジネスコース

文系の視点からビジネスと IT を結びつける実践的な能力をもった人材の育成を目標とします。インターネットを代表とする IT は、企業活動のあらゆる面に浸透しています。e-ビジネス基礎、サプライチェーン・マネジメント、CRM などの科目を通じて、ビジネス界の先進的な事例をもとに、導入および実施のための手法や理論を学びます。

IT 起業家コース

新しい事業を構想し、それを具体化できる起業家能力をもった人材の育成を目標とします。ベンチャービジネス論、マーケティング論、流通システム論、ビジネスプランなど、企業を経営していく上での基礎理論から、具体的なビジネスプランの策定までを学びます。

IT 経営戦略コース

文系の視点から、経営戦略と IT を結びつけることができるという時代の要請に合った人材の育成を目標とします。企業が抱える問題を、IT を駆使して解決するために、情報システム学、経営戦略、プロジェクトマネジメントなど実践的な手法や理論を学びます。

e-会計コース

企業に蓄積された会計データや情報などを、IT を活用して分析し、経営戦略の策定まで発展できる人材の育成を目標とします。財務会計論や管理会計論などの会計の知識だけではなく、マネジメントサイエンス、ビジネスインテリジェンスなども踏まえた実践的な手法や理論を学びます。

求める学生像

- ・ 文系の視点から経営と IT に関心があり、経営と IT の専門家になりたい人
- ・ 起業、経営、e-ビジネス、IT に興味を持ち、地域や社会に貢献したい人
- ・ 何事にでも、自ら新しいことにチャレンジしてみたい人

システム情報学科

学科の理念

いまや時代は IT 抜きでは語れません。人間活動を含めたすべての分野で IT はコア・テクノロジーとして重要になりつつあります。今後ますますこの傾向は強くなることでしょう。当学科はコンピュータサイエンスとソフトウェアエンジニアリングを中心に広く情報科学の知識を修得し、多種多様なこれらの応用分野でその中心を担い得る高度な情報システムエンジニアを育成します。

教育目標

多くの産業の中心となる情報システムの開発に必要な知識や技能を修得した人材の育成

組込み型ソフトウェアや実社会で標準的に使われている技術を含む、様々なソフトウェアの開発に従事できる人材の育成

経営学の知識とともに、ネットワーク、画像処理、人工知能などの様々な情報技術を応用し、問題解決を図り、地域や社会に貢献できる人材の育成

情報関連各種資格の取得

以上のことを含め、システム情報学科では 5 つのコースを設けています。

ソフトウェアデザインコース

企業情報システムの設計や実装を担うソフトウェア開発技術者(システムエンジニア)の育成を目標とします。実践的な技術者の育成を目標として知識・技術とも専門領域を学びます。

ネットワーク・メディアコース

大きく可能性を秘めたネットワークと CG・画像処理の知識や技能を修得したソフトウェア技術者の育成を目標とします。即戦力の専門家を目指してネットワーク、Web、CG・画像処理の専門領域を学びます。

知能・情報科学コース

世の中の社会現象を情報科学的に分析し、問題提起や問題解決能力を持った専門家の育成を目標とします。現在のような急速な社会変化にも対応可能な普遍的な知識・技術と学習能力を学びます。

経営情報システムコース

経営情報システムの利用者の立場に立った情報システムの専門家(システムアドミニストレータ)の育成を目標とします。経営分野の知識と経営に関わる情報技術の専門領域を学びます。

ロボット・組込みソフトウェアコース

携帯電話・ゲーム・家電・産業機器等に組込まれる機能の設計・実装を担うソフトウェア技術者の育成を目標とします。組込みソフトウェアやロボット制御等ハードウェアに密着したソフトウェア開発技術を学びます。

求める学生像

- ・ コンピュータに関心があり何事にも自主的に学ぶ意欲をもっている人
- ・ 頭だけではなく、自分の手を動かして何か新しいモノをじっくりと作ってみたい人
- ・ 自分の持っているはずの未知なる能力を IT 分野で探してみたい人

医療情報学科

学科の理念

少子・高齢化を迎えたわが国では、医療の効率化をはかり、質の保証された高度医療サービスをいかに提供できるかが重要な課題です。このため医療分野へのITの導入が強く求められています。当学科では、医療情報を取り扱うのに相応しい高い倫理観と、幅広い医療情報や医療システムに関する知識を持ち、医療分野のIT化をリードする人材を育成します。

教育目標

幅広い教養、専門性の高い医療・医療情報の知識、実践性の高い情報処理技術を身につけるための教育訓練プログラムを通して、医療情報分野における専門職業人の育成を目標とします。医療情報に関する能力やスキルを有するだけでなく、主体的な行動力・判断力・学習能力・思考能力を養う教育をめざしています。

幅広い医療分野の知識習得

医療分野でのIT活用・応用技術の習得

医療情報関連の各種資格取得

以上の目標を達成するため、医療情報学科では4つの履修コースを設けています。

診療情報マネジメントコース

疾病分類や医療の質の向上に必要な病院の情報コミュニケーション技術(ICT)化を推進し、医療・教育機関や海外医療施設で活躍できる人材の育成をめざします。医療・医学の専門的知識を習得し、診療情報管理や高度医療事務の知識と技術を身につけることを学びます。

診療情報管理士、診療報酬請求事務、メディカルクラーク、医療秘書、他
医療情報システムコース

電子カルテなど病院特有の情報システム運用を担当し、情報技術を駆使できる人材の育成を目標とします。病気の診断、治療、病院情報、病院管理、病院経営など幅広い知識と技能を身につけることを学びます。

医療情報技師、基本情報技術者、診療情報管理士、他
医療情報テクノロジーコース

情報処理や画像処理などの処理技術を駆使した新しい医療情報システムの開発や、環境および安全性を考慮した医療安全管理ができる人材の育成を目標とします。情報処理技術、医療情報管理技術、生体計測技術、安全設計などの知識と技術を身につけることを学びます。

第2種メディカルエンジニア、医療情報技師、基本情報技術者、他
バイオサイエンスコース

医療・医薬の分野において、バイオテクノロジー技術を用いた健康とエコロジーの研究・開発に必要な、生命に関わる幅広い解析方法・応用力を習得します。また医学・医療への応用に必要なバイオインフォマティクスの技術を身につけることを学びます。

バイオ技術認定、バイオインフォマティクス技術者、基本情報技術者、他
(、取得可能資格)

求める学生像

- ・医療情報分野への強い興味と探究心を持ち、新しい領域に挑戦する意欲のある人
- ・医療、福祉、介護を通じて社会に貢献する意欲のある人
- ・医療情報に関わる医療技術の応用、ならびに医療を取り巻く環境や安全に関心のある人

情報メディア学科メディアデザイン専攻

専攻の理念

わが国は e-Japan、Post e-Japan により、ハコモノ、インフラとしての情報化は十分に展開されました。残された課題はメディアの中身・コンテンツ不足の解決です。当専攻は、映像、動画像、音声、感性などの先端的分野で活躍している専門家教員集団を中心に、IT を使いこなす時代が求める新しいコンテンツを創造し得る人材を育成します。

教育目標

- テーマ性のあるストーリーを考え、それを映像あるいは動画像で表現できる人材の育成
- 工業デザイン、広告デザインなどの分野で、IT 技術を駆使できるグラフィックデザイナーの育成
- 使いやすさ見やすさを追求した、人間に優しいユニバーサルデザイン手法を修得した人材の育成
- インターネットが普及した現在において重要性が一層増しているウェブデザイナーの育成
- IT 技術を使ってデジタルサウンドを制作できる人材の育成
- 必要となる各種資格の取得

以上のことを含め、メディアデザイン専攻では 5 つのコースを設けています。

映像・アニメデザインコース

ショートフィルムなどの実写映像制作や、クレイアニメを含むアニメーションの制作を学び、新しい映像クリエイターを養成します。

3DCG・グラフィックデザインコース

3DCG の静止画・動画制作の基礎から応用を学ぶとともに、ポスターなどの広告のデザイン、コンピュータを使った本のデザインなどを学び、感性豊かで人を惹きつける斬新なグラフィックデザイナーを養成します。

ウェブデザインコース

新しい技術を取り入れたホームページの制作を学び、斬新なデザインで人を惹きつけることのできるウェブデザイナーを養成します。

ユニバーサルデザインコース

使いやすさ、見やすさを追求したデザインを学び、人間に優しいデザイン手法を修得します。

デジタルサウンドコース

コンピュータを使った音楽制作の基礎から応用を学びデジタル音楽のスペシャリストを養成します。

求める学生像

- ・自らの芸術性と感性を IT 活用によりさらに磨きたい人
- ・豊かに表現・デザインすることに喜びを感じる人
- ・自ら他への情報発信に興味のある人

情報メディア学科メディアテクノロジー専攻

専攻の理念

世界規模のインターネットをはじめとして、単なる通話機能を越えた種々の機能を持つ携帯電話など、我々はいまやユビキタス時代に突入しつつあります。当専攻は、これらの中核となる関連新技術を修得・使いこなし、かつ、これらを元にまったく新しい技術や、ビジネスを生み出すことが出来る高度 IT 人材を育成します。

教育目標

- 映像、動画像、音声などのデジタルコンテンツを処理できるメディア技術者の育成
- ユビキタスコンピューティングやゲームプログラミングの開発に従事できる人材の育成
- ウェブアプリケーションを開発できる人材の育成
- ネットワークの構築、運営、管理、セキュリティに代表されるインターネット基盤技術を習得した人材の育成
- 必要となる各種資格の取得

以上のことを含め、メディアテクノロジー専攻では 4 つのコースを設けています。

デジタル映像・サウンドコース

モーションキャプチャ、3D 画像処理、CAD、DTM 関連処理技術を学び、デジタル映像と音の技術者を養成します。

ゲームプログラミングコース

ゲームプログラムの基礎から応用を学び、制御技術と新しい感性を持ったゲームプログラマーを養成します。

ウェブアプリケーション開発コース

インターネットや LAN 上で動作するアプリケーションシステムを構築するために必要な技術に加えて、携帯電話などモバイル技術にも精通したシステムエンジニアを養成します。

インターネット・セキュリティコース

ネットワークの設計、管理、運用およびネットワークプログラミングと共に、現在もっとも必要とされているセキュリティ技術を学びネットワーク技術者のスペシャリストを養成します。

求める学生像

- ・ コンピュータを使って画像、映像、音声など様々な情報を処理することに興味のある人。
- ・ ネットワークに興味を持ち、情報システムの構築やゲームの制作などに必要な技術を学習したい人。
- ・ 様々なIT関連技術を利用して、具体的な作品（プログラムなど）を作りたいという意欲のある人。